

薫りの継承  
下

中村明日美子



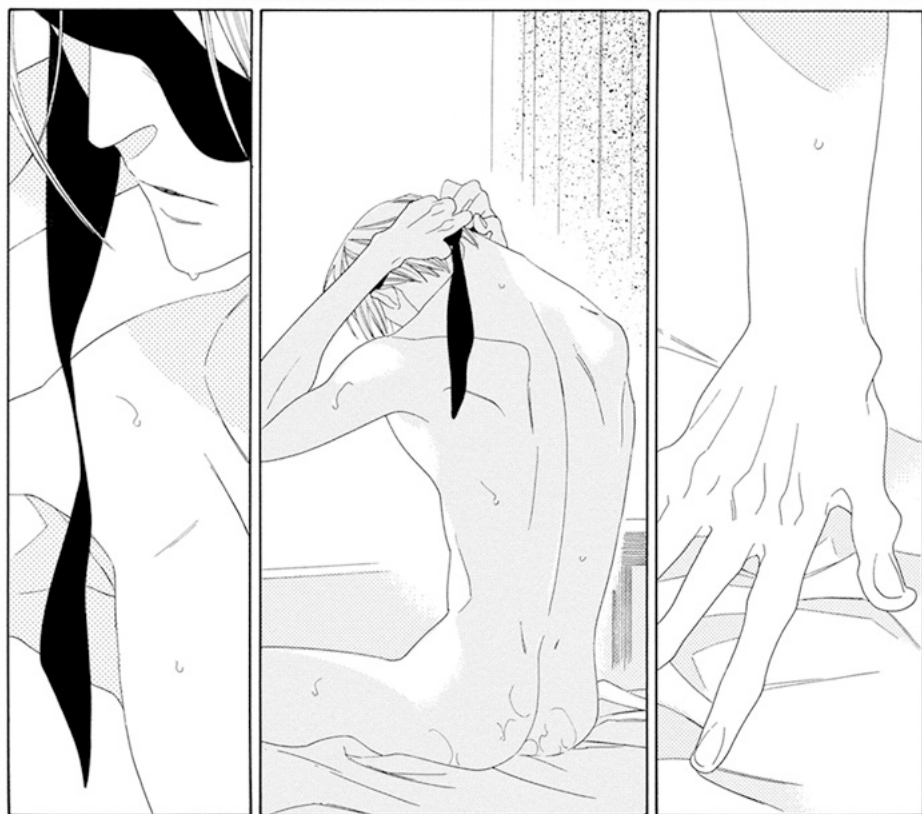


暗 転	第 十 一 話	第 十 話	第 九 話	第 八 話	第 七 話
179	137	103	71	39	5













兄<sup>にい</sup>さんは？



それがねえ  
急の仕事が  
入って

こっちに  
着くのは  
夜遅くだって  
言うのよ

ふふ

ああいう人を  
ワーカホリック  
っていうのね

本当に  
ごぶさたで  
ございますねえ  
奥様

ああ  
サカキさん

本当に  
久しぶり

元氣  
そうですね

ええ  
そりやもう

奥様のお顔を  
見ましたら腰も  
ピンとのびるって  
もんですよ

うふふ  
やあねえ

サカキさんが  
全部いろいろ  
やって下さって  
いたので…

僕は本当に  
ただお茶を  
飲むばかりで

そりや  
そうですね

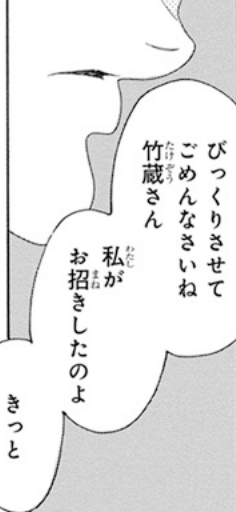
ご主人様方に  
お手伝い頂くなんて  
とんでもない!

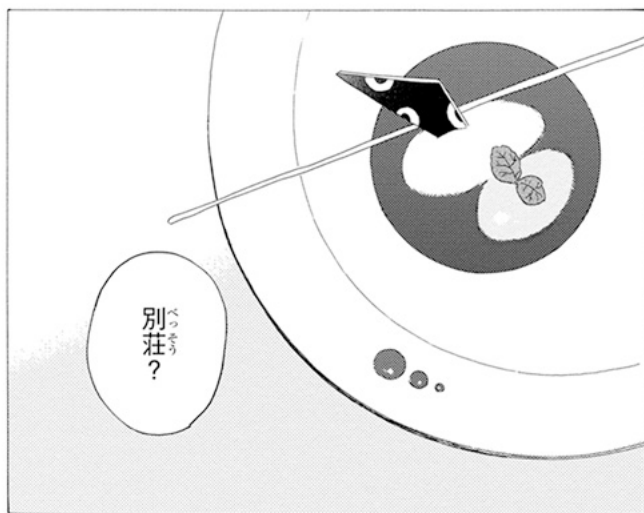
ごめんなさいね  
私が先に  
着いていれば  
よかつたのだけど

いえ僕が  
早く着き  
すぎただけで

…でも

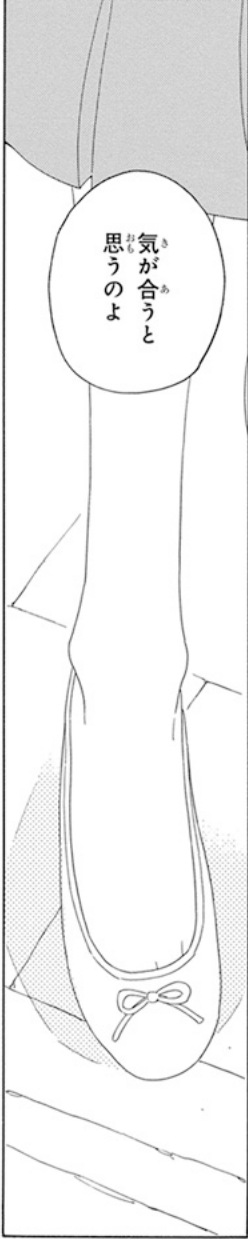
本当に  
久しぶりだわ





別荘？

気が合うと  
思うのよ



そうなの  
比良木の家で  
昔から持っている  
別荘があつてね  
いいところ  
なのよ

私も娘時代から  
何度かお邪魔  
してるんだけど  
静かで  
東側からは  
湖がよく  
見えてね  
その水面に映る  
星空が本当に  
きれいな

結婚して  
しばらくは毎年  
行つたのよ

楽しそう  
ですね

でも  
ここ数年は  
みんなの都合が  
合わなくて

すっかり足が  
遠のいてしまって…

でね

今年は要も  
お友達同士で  
泊まりがけで  
遊びに行く  
とか言ってるし

うちもスミさんに  
お休み  
あげたいじゃない？

だから

いっそ  
大人だけで  
出かけるのも  
いいんじゃないか  
と思っただのよ

あの人と  
要と

ときどきは  
要のお友達も  
一緒に連れて  
行ったりして

はあ

ねえ  
お店って少しも  
休めない？

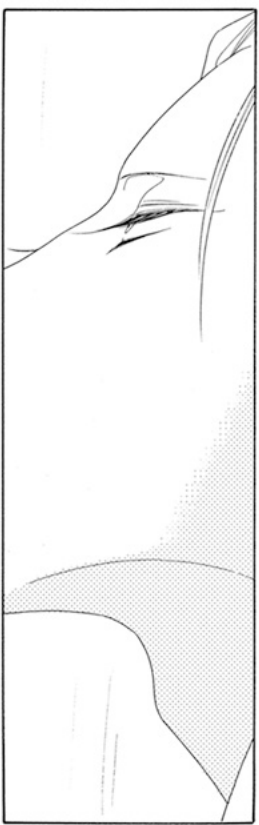
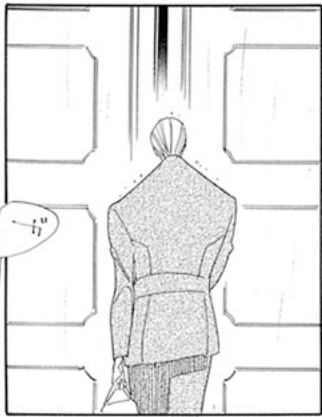
オーナーが  
毎日いたら  
従業員も  
気が抜けないと  
思うのよ

どうかしら

2、3日

…兄さんは









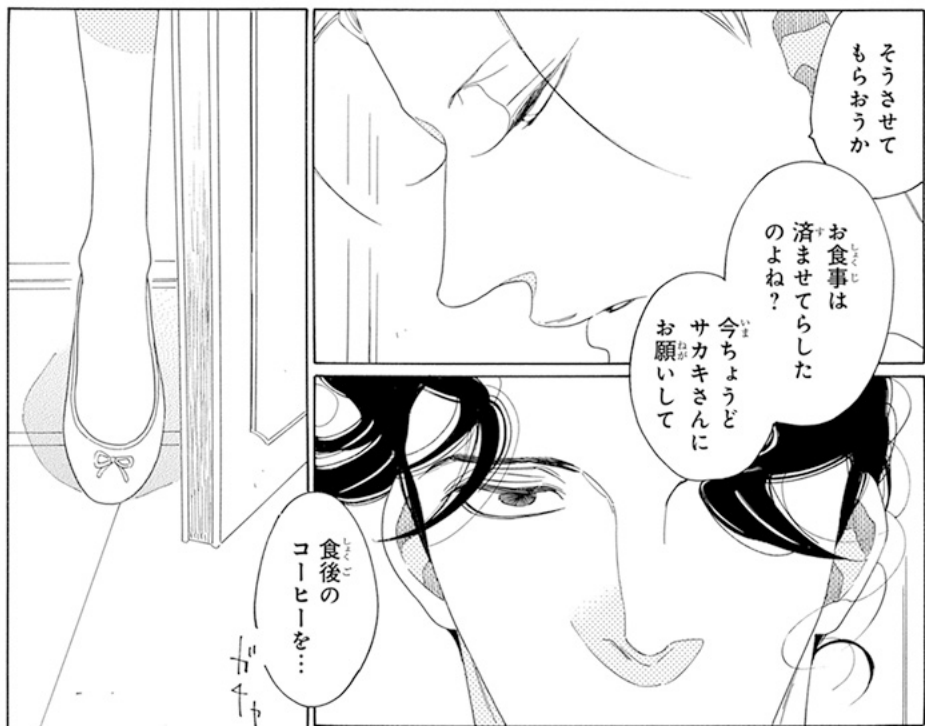
あらっ

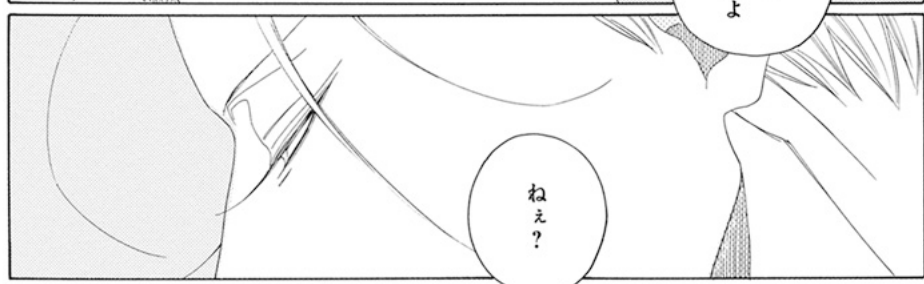
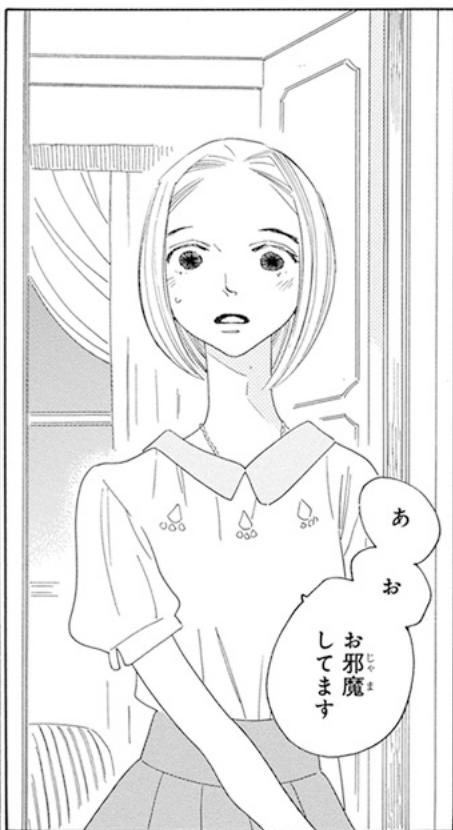


あなた今  
いらしたの？

おも  
思ったより  
早かったのね







かほはは

いやだ  
茉莉子さんたら

そんなことまで  
お話してるん  
ですか？

だって  
あなたのお芝居  
本当に  
素晴らしかったん  
だもの

やだもう  
はずかしい

もう  
お芝居は  
やっていないの？



ええ

卒業してからは  
もう全然

残念  
見たかったね

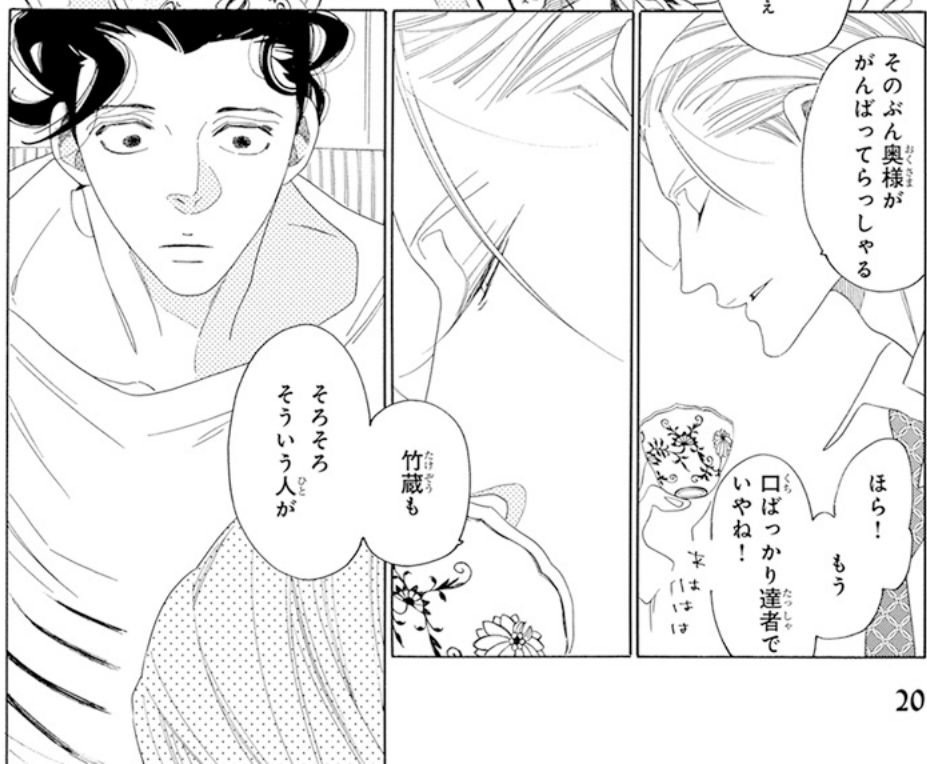
はるかさんの  
歌って踊れる  
バスガイド

もう  
やめて  
下さい！

女は  
はは



竹蔵さんは？





そばに  
いると  
いいんじや  
ないか



よろしいんですか？  
ご夫婦一緒じゃ  
なくって

いいのよ  
たまには別々に  
休みたいもの

また  
そんなこと  
おっしゃって！

まははは



男の方は  
東の対

女の方は西の対に  
お部屋をご用意  
いたしましたよ

